

山陽学園大学

(シラバス)

授業科目名：看護学概論				担当教員氏名：石本 傳江	
履修年次：1～4年	1単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
専門職としての看護を理解するために、看護の重要概念を教授し、看護の役割について検討する。具体的には、看護の定義、健康の概念、保健・医療・福祉のシステム、対象理解、看護の方法論、看護の歴史、看護理論などについて概観し、現状と課題を理解する。					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の構成要素を抽出し、全体像をイメージし、看護へのアプローチ法を知る。 2. 看護学の重要概念を整理し、看護の定義、目的、役割、方法などについてまとめる。 3. 医療の概念と医療のあり方について理解する。 4. 健康の概念について、定義、概念の変遷、ライフサイクルにおける変化などを学習する。 5. 看護の歴史と看護理論について概要を知る。 6. 保健・医療・福祉の施設や活動のシステムを理解し、チーム活動の必要性を知る。 7. 看護の法制度について、憲法、医療法を知る。 8. 保健師助産師看護師法の概要を学ぶ。 9. 看護の対象の基本的ニーズと、健康障害による心理的变化について学ぶ。 10. 看護の対象となる家族、地域社会、環境について、個人との関わりをとおして学ぶ。 11. 看護の機能・役割を対人関係を通して学ぶ。 12. 看護実践の方法として、看護展開方法、看護援助技術を知る。 13. 看護の歴史と発展について分担学習する。 14. 看護の歴史と発展について分担学習し、発表する。 15. 看護の組織化、看護教育・研究の発展過程などを概観し、今後の展望を検討する。 					
【テキスト】					
ライダー島崎玲子他『看護学概論』第2版 医歯薬出版株式会社 2009 ナイチンゲール：小林章夫他訳『看護覚書』うぶすな書院、2006					
【参考図書】					
ヘンダーソン：湯楨ます『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会、1998					
【成績評価の方法】					
期末試験の評価70% 課題レポート(ナイチンゲール看護論)15% 授業参加、分担学習、プレゼンテーション参加を15%で総合評価する。					

授業科目名：生涯発達心理学				担当教員氏名：高橋 功	
履修年次：1～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
生涯発達心理学は、人生という長期の視野で見たときの、人間の意識と行動の変化、あるいは人と人との関わりの変化を研究する分野であり、この授業はその入門的な講義です。基本的には教科書に沿って進めます。					
【授業内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義の進め方、第01章「生涯発達心理学の基礎」(1.1生涯発達の考え方、1.4発達臨床) 2. 第01章「生涯発達心理学の基礎」(1.2発達の規定因、1.3発達段階と発達課題) 3. ピアジェの認知発達論とエリクソンの心理社会的発達論 4. 第03章「胎児期・乳児期」 5. 第04章「幼児期」 6. 第05章「児童期」 7. 第06章「青年期前期」 8. 第07章「青年期中期」 9. 第08章「青年期後期」 10. 職業発達 11. 第09章「成人期前期」 12. 第10章「成人期中期」 13. 第11章「成人期後期」 14. 第02章「生涯発達心理学の研究法」(2.2発達心理学研究の特徴、2.3身近な発達研究) 15. 「生涯発達心理学の展望」、補足講義 					
【テキスト】					
二宮克美ら『ガイドライン生涯発達心理学』(ナカニシヤ出版)					
【参考図書】					
授業内に紹介します					
【成績評価の方法】					
期末試験6割、受講態度1割、課題提出3割で評価します。期末試験未受験者はG評価とします。欠席超過はF評価とします。そのほかの詳細は初回の授業で述べます。					

授業科目名：臨床心理学				担当教員氏名：石原 みちる	
履修年次：1～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 心理的な援助についての基本的姿勢と考え方について学ぶ。初めに、臨床心理学の基本的な考え方、心理学の中での位置づけについて学び、次に心理的援助を必要とする問題について学ぶ。また、心理の専門職についても知る機会を提供したい。各回に実習的な要素を含めるので、自分の心、他者の心に触れる中で、体験的に理解することも試みて欲しい。					
【授業内容】 1. 導入 授業のルールと進め方 臨床心理学となにか 臨床心理学の実践領域 2. 臨床心理学の歴史 3. 臨床心理学の理論的背景(1) 心理臨床の基礎となる心理学 4. " カウンセリング心理学 カウンセリングの技術 5. 臨床心理学の理論的背景(2) 精神医学 神経症と精神病 6. " 心身症(心とからだ) 7. 臨床心理アセスメントと心理療法 8. 心理療法(1) 精神分析的な心理療法 9. 心理療法(2) ユング派の心理療法 10. 心理療法(3) クライアント中心療法 11. 心理療法(4) 行動療法 12. 心理療法(5) 認知療法 13. コミュニティ援助 14. 臨床心理専門職の資格、サイコセラピストをめざすとは 15. 臨床心理学のまとめ					
【テキスト】 改訂版 臨床心理学概説 馬場禮子 放送大学教育振興会					
【参考図書】 なし					
【成績評価の方法】 期末テスト(6割)・授業中の提出物(ワークシートなど:4割)・出席(2/3以上の出席者を評価対象とする。評価Aは8割以上の出席を条件とする。)					

授業科目名：感情心理学				担当教員氏名：松浦 美晴	
履修年次：1～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 我々は、「感情」と共に日常生活を送っている。感情の中には、欲求、気分、情動など、様々なものが含まれる。それらは知覚・認知・学習から生まれ、それぞれの機能を果たしている。本講義では、感情心理学の古典的な理論から、最近の研究までを取り上げ、それらが、我々の日常の感情経験をどのように説明するかを考える。					
【授業内容】 1. 感情とは何か 2. 環境への解釈が感情に及ぼす影響 3. 感情の喚起 4. 伝わる感情 5. 感情の発達 6. 感情の測定(1) さまざまな測定法 7. 感情の測定(2) 色で感情を測定できる？ 8. 食行動と感情(1) 食欲 9. 食行動と感情(2) 食行動異常 10. 情動と動機づけ 11. エンターテインメントと感情(1) 認知における体制化のはたらき 12. エンターテインメントと感情(2) 登場人物への感情移入 13. エンターテインメントと感情(3) 映像と音楽の効果 14. 映画鑑賞中の感情 15. 感情の古典的理論 及び まとめ					
【テキスト】 プリントを配布する。					
【参考図書】 授業中に指示する。					
【成績評価の方法】 学期末レポート(90%)に、受講態度(10%)を加えて評価を行う。					

授業科目名： 日本語教育概論				担当教員氏名： 山根 智恵	
履修年次：1～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】					
コース・デザイン、教材・教具、評価、教授法といった実践的な項目だけでなく、日本語教育の歴史についても触れ、21世紀の今日、日本語教育を行う意義を再考する。単に講義を聴くだけでなく、受講生同士がグループになって話し合いを行ったりすることで、受講生が積極的に関わっていく授業を目指したい。					
【授業内容】					
1. 授業内容の説明、日本語教師とは？ 日本語教育の現状(1)国内 2. 日本語教育の現状(2)海外 3. 日本語教育の歴史(1)江戸時代まで 4. 日本語教育の歴史(2)明治～現在 5. 授業観察(1) ビデオを見る 初級 6. 授業観察(2) ビデオを見る 中級 7. コース・デザイン 8. 教室活動(1)「話すこと」聞くことを教える 9. 教室活動(2)「読むこと」「書くこと」を教える 10. 教材・教具(1)教材・教具の知識 11. 教材・教具(2)教材を作る 12. 評価 13. 日本語教育と外国語教授法(1)オーディオリングル・メソッド他 14. 日本語教育と外国語教授法(2)サジェストベディア他 15. まとめ 日本語教育の将来					
【テキスト】					
小林ミナ『日本語教育能力検定試験に合格するための教授法』アルク					
【参考図書】					
日本語教育学会編『新版日本語教育事典』大修館					
【成績評価の方法】					
(1)授業態度(話し合いへの参加度など) 10点 (2)授業中に出される小課題 10点 (3)レポート①:授業風景を収めたビデオを一つ選び、その授業について学習者の背景、使用教材・教具、授業の流れ、授業についての感想をまとめたもの 40点 (4)レポート②:本講義で学習した重要ポイントをまとめたもの 40点 ①、② 合計2,000字以上					

授業科目名： 服飾デザイン論				担当教員氏名： 隈元 美貴子	
履修年次：1～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】					
デザインするとは、自分の考えを形に表すという事です。特に、被服は身体につけるものですから、内面をも含めた自分を、相手にどう表現していくかという事を考慮に入れて、デザインする必要があります。当然服を選ぶ時もそうです。この授業では、それらを念頭におきながら、デザインの基礎となる、点が線になり形になっていくという考え方や、色による見え方の違いなどを、演習をとおして理解していく事を目的とします。また、カラーセラピーやカラーアナライズがどのようなものか紹介をします。					
【授業内容】					
1. デザイン概論 2. デザインと服飾デザイン 3. 点と線と錯視 4. 点と線と形(実際に演習を行う) 5. 面と立体とシルエット 6. 流行とシルエット 7. 柄の基本(演習を含む) 8. 色彩の基礎 9. 色と心 10. トーンと配色の理論 11. 色彩と材質感 12. デザインをまとめる過程で必要な秩序の理論について(バランスとハーモニー) 13. デザインをまとめる過程で必要な秩序の理論について(バランスとシンメトリー) 14. リズムとプロポーションと色の使い方(演習を含む) 15. まとめ(演習を含む)					
【テキスト】					
ファッション&ビューティー(日本色彩研究所発行)					
【参考図書】					
服飾デザインと色彩、デザインの色彩					
【成績評価の方法】					
①授業への取り組み方 30点 ②授業中の課題 30点 ③定期試験 40点					

授業科目名： 精神保健				担当教員氏名： 上地 玲子	
履修年次：1～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】 現代社会における様々なストレス状況を理解し、精神保健に関する項目を身近なこととしてとらえ、精神的な問題に対応する方法を学ぶことを目的とする。					
【授業内容】 1. オリエンテーション 精神保健とは 2. 小児の成長・発達 3. 心理的問題 4. 心身症 5. 演習① 自分について考える 6. 統合失調症・うつ病 7. 慢性疾患 8. 発達障害 9. 障害児の療育 10. 障害児保育・教育 11. 妊産婦の精神保健 12. 児童虐待 13. 地域における子育て支援・児童福祉 14. 演習② 他者理解を深める 15. 演習の振り返り・まとめ					
【テキスト】 「精神保健 (保育・教育ネオシリーズ)」 柴崎 正行, 岸井 勇雄, 無藤 隆【監修】 同文書院					
【参考図書】 なし					
【成績評価の方法】 期末試験70点、授業ごとに課すミニレポートおよび授業態度30点により評価する。					

授業科目名： 現代中国論				担当教員氏名： 班 偉	
履修年次：2～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】 中国はここ20年、一党支配体制の下で高度成長を成し遂げ、2010年には遂に日本を追い抜いて世界第2位の経済大国になった。しかしその一方で、格差の拡大・環境破壊・官僚腐敗・民族紛争など様々な世紀末現象も表面化しつつある。この講義では、日々深刻化する中国の社会問題を取り上げて解説し、超大国・中国の行方や日本に与える影響などを分析する。					
【授業内容】 1. チャイナ・インパクト 2. 「世界の工場」の光と影 3. 超格差社会の出現 4. 深刻化する環境問題 5. チベット族の反乱 6. ウイグル族の暴動 7. 天安門事件と中国の人権問題 8. 太子党の登場と中国政治の危機 9. 大陸と台湾の愛憎関係 10. 中国の軍拡と海洋進出 11. 日米中の新三国志 12. 朝鮮半島の情勢と中国 13. ロシア・インド・ベトナムとの関係 14. 南シナ海の領有権を巡る紛糾 15. 中国の命運と前途					
【テキスト】 プリントを配布					
【参考図書】 なし					
【成績評価の方法】 授業態度・口頭発表・定期試験の成績を以って評価する。6回欠席した者は定期試験を受ける資格を失う。					

授業科目名： 日本文学講読				担当教員氏名： 佐藤 雅代	
履修年次：2～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 古典文学作品の多くは、写本や版本の形で現在に残されている。それらを写真によって複製したものを影印本という。また、写本や版本は、現代の仮名の字体とは異なる、変体仮名で書かれている。この授業では写本や版本のコピー、あるいは影印本などをテキストに用いて、変体仮名のもとになっている文字(字母)を覚え、一字一字読み解き、原本により近い形で文学作品を講読する。					
【授業内容】 1. 授業のガイダンス 2. 仮名文字の文学と変体仮名の歴史 3. 変体仮名の基礎1(字母と異体字) 4. 変体仮名の基礎2(繰り返し符号と連綿の文字) 5. 変体仮名の基礎3(連綿の文字に慣れる) 6. 変体仮名の応用1(文脈で読む) 7. 変体仮名の応用2(古今和歌集の仮名序を読む) 8. 伊勢物語(むかし男の一代記) 9. 伊勢物語(モテル男の悲劇) 10. 伊勢物語(去りゆく妻へ) 11. 伊勢物語(男同士の友情) 12. 源氏物語(桐壺巻の冒頭を読む) 13. 源氏物語(桐壺更衣の絶唱) 14. 源氏物語(紫上の登場) 15. 源氏物語(末摘花の造形)					
【テキスト】 プリントと『増補改訂 仮名変体集』伊地知鐵男 編(新典社)を使用する。					
【参考図書】 必要に応じて、その都度指示する。					
【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢 20%、提出物と小テスト 30%、期末試験 50% ※出席が10回に満たない場合は、期末試験の受験資格を失う。					

授業科目名： 英語圏文化A				担当教員氏名： ソーンリ サイモン	
履修年次：2～4年	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】 This course uses English at an intermediate level to introduce many aspects of British culture. It is a four-skills course. Students will be encouraged to use knowledge from reading to weigh their opinions in simple discussions and finally to summarise their reactions in writing.					
【授業内容】 1. Course Orientation 2. British English 3. Etiquette 4. Traditional Culture 5. Festivals 6. Fairy Tales 7. Social Conventions 8. Social Institutions 9. Fashion 10. Food 11. Special Occasions 12. National Structure 13. Europe and Britain 14. Humour 15. Revision					
【テキスト】 Teacher will provide all material.					
【参考図書】 なし					
【成績評価の方法】 Class Participation Score 20%, Final Examination 30%, Homework / Classwork 50%					

授業科目名： 日本作家作品研究				担当教員氏名： 高嶋 哲夫	
履修年次：2～4年	2単位	集中8月	1コマ		
【授業の目的】 小説とメディアの将来的なコラボレーションについて、担当者自身の例などから考慮する。また、岡山県の文学についても紹介したい。					
【授業内容】 1. 自己紹介と小説家の仕事 2. 小説家の仕事 3. 映画と小説 4. 映画と小説 5. 漫画と小説 6. 小説の書き方 7. 「三部作」ができるまで 8. 吉備路文学館について 9. 吉備路文学館について 10. 15枚の小説について 11. テレビドラマと小説 12. テレビドラマと小説 13. 好きな小説 14. 何か書いてみよう 15. まとめ					
【テキスト】 なし					
【参考図書】 高嶋哲夫著『ミッドナイトイーグル』『イントゥルーダー』(文春文庫) 『ダーティユー』(光文社文庫)					
【成績評価の方法】 レポート提出により評価する。					

授業科目名： 流通小売業論				担当教員氏名： 神戸 康弘	
履修年次：3～4年	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 この授業では、『現代商業学』(高嶋克善著)をサブテキストとして、流通小売業論の基本を学んだ後、現実のビジネス展開として、その都度ケーススタディを取り上げる。特に新たに登場した流通小売ビジネスの展開について着目する予定である。					
【授業内容】 1. イントロダクション 2. 商業とは何か—一品揃えを形成する商業者 3. 小売商業の構造—小売店舗がどれだけ必要か 4. 卸売商業の構造—なぜ流通が多段階になるのか 5. 商業における信頼関係—商業者はなぜ信頼を重視するのか 6. 商業におけるパワー関係—いかにして取引を統制するか 7. 生産者による流通系列化—なぜ商業者を統制するのか 8. 商業における革新—商業はいかに変化するか 9. 変化する小売業—小売業態の革新 10. 変化する卸売業—卸売業態の革新 11. 小売業ケーススタディ—ユニクロ他 12. 小売業ケーススタディ—スターバックス他 13. 小売業ケーススタディ—イケア他 14. 小売業ケーススタディ—岡山の流通小売業 15. まとめ					
【テキスト】 特になし(プリント配布)					
【参考図書】 『現代商業学』(高嶋克善著) 有斐閣アルマ 『21世紀のチェーンストア—チェーンストア経営の目的と現状』(渥美俊一著) 実務教育出版					
【成績評価の方法】 学期末試験の得点に、受講態度を加味して評価を行う。					